

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

地震の時の避難と竹林

昔から「地震のときは竹やぶへ逃げよ」と言い伝えられているが、これは体験にもとづく貴重な言葉である。大地震と連発する大被害については、とうてい人工では実験できない。体験を昔の人から聞けないので、現在生きておられる人から、昭和57年に体験談を集めた。その結果は「日本の竹を守る会」会誌第17号に載せてある。ここの要点だけを述べよう。

関東大地震

小田原市と秦野市方面での体験。大正12年9月1日に関東を襲った大地震である。小田原市の損害は、死者 27,671 人、焼失家屋約7万戸、全半壊 126, 000 戸、ほかに山崩れや津波など。このとき昔からの名言「大地震のときは竹やぶへ逃げよ」を信じて竹林に逃げたものは、みんな・命が助かった。

秦野市では、行政指導で多くの人が竹林に逃げ、これらの人は皆無事で安全であった。

ただ小田原市でも、秦野市でも、竹林についての一致した感想は、傾斜地は山崩れの恐れがあるので、広い面積の竹林を選ぶこと。海辺の竹林は津波の危険があるので避けること。竹林は良い竹こ富む竹林ほど安全なので、日ごろ竹林改良の行政指導をして欲しい。石垣のそばに避難していた人が石垣の倒壊で命を失った。もし竹の生垣であったら崩れないで命は助かったに違いない。(関東大地震の思い出集)

「竹づくし文化考」上田弘一郎著 発行 京都新聞社より

杉戸 正直



1. 10月活動報

①9月21日(水)	炭小屋内作業	6名
②9月24日(土)	間伐体験 ZFC 通信印刷発送	8名 参加者 3名
③9月28日(水)	炭小屋内作業	8名
④10月01日(土)	炭小屋裏間伐材ヒノキかたづけ	8名
⑤10月05日(水)	炭小屋内作業	7名
⑥10月08日(土)	アキアカネの丘伐倒材搬入	10名
⑦10月12日(水)	炭小屋内作業	7名
⑧10月15日(土)	ヤマモモ除伐 砂鉄採取 運営会	13名

2. 11月活動予定

- ①10月19日(水) 炭小屋内作業
- ②10月22日(土) 炭小屋木材かたづけ ZFC 通信印刷発送
- ③10月23日(日) 友の会のボランティア祭り
- ④10月26日(水) 炭小屋内作業
- ⑤10月29日(土) CSR 支援三菱 UFJ信託銀行協力 炭小屋裏杉伐採
- ⑥11月02日(水) 炭小屋内作業
- ⑦11月05日(土) クヌギ林草刈り
- ⑧11月07日(月) 栄高校三世代交流準備 16時栄高校
- ⑨11月08日(火) 栄高校三世代交流 13時
- ⑩11月09日(水) 炭小屋内作業
- ⑪11月11日(金) CSR 東芝メモリシステム(株) 13時から16時 予備日25日(金)5名ほど
- ⑫11月12日(土) 炭小屋裏間伐
- ⑬11月16日(水) 炭小屋内作業
- ⑭11月19日(土) クヌギ林奥いちょう除伐 運営会 安全講習
- ⑮11月23日(水) 畑アベマキ伐採
- ⑯11月26日(土) 池ノ上斜面草刈り
- ⑰11月30日(水) 炭小屋内作業

午後適時アラカシ林伐採が入ります

3. その他

- ・忘年会 12月17日(土) 森の家にて 詳細は後日
- ・12月活動予定予定として次の活動を予定しています
 - 1 炭小屋かたづけ
 - 2 竹材用意
 - 3 ホダギ伐採

以上